

小・中・特別支援・高等学校長様
幼稚園・保育園長様

東海北陸地方放送教育研究協議会
愛知県視聴覚教育研究協議会
会長 稲垣 寿

平成30年度 第56回 東海北陸地方放送教育研究大会 第50回 愛知県放送教育特別研究会の開催について（一次案内）

本会は、放送をはじめとする視聴覚教材を日ごろから利用している方、これから利用してみたいという方が集まり、具体的な実践を基に参加者全員で考え合う会です。

また、東海北陸地方の幼稚園・保育園から高等学校までの先生方が一同に会して情報交換のできる貴重な会です。ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

大会テーマ「未来を拓く学びの場を創造しよう」

- 1 日 時 平成30年8月23日（木）9時30分～16時
- 2 会 場 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）
名古屋市中村区名駅四丁目4-38 TEL (052) 571-6131
※ JR・名鉄・近鉄・地下鉄「名古屋」駅より東へ徒歩約5分
- 3 主 催 東海北陸地方放送教育研究協議会 愛知県視聴覚教育研究協議会
全国放送教育研究会連盟 NHK名古屋放送局
- 4 共 催 NHKサービスセンター
- 5 後 援 文部科学省 厚生労働省 内閣府 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会
愛知県教育振興会（申請中を含む）
- 6 日 程 9:30 10:00 12:00 13:00 16:00
（予定）
- | | | | |
|----|---------|----|------|
| 受付 | 開会行事・講演 | 昼食 | 部会研究 |
|----|---------|----|------|
- 7 講 演 小林 祐紀 氏（茨城大学教育学部 情報文化課程 准教授）
演題「主体的・対話的で深い学びの実現のための放送番組・ICTの活用」（仮題）

三重県出身、金沢大学大学院教育学研究科修了後、金沢市内公立小学校に約10年間勤務。2015年4月より現職。専門は、教育学、情報教育、ICTを活用した実践研究。

小学校教員のときには、子どもたちが対話的コミュニケーションを通じて学び合う授業を目指し、ICTやホワイトボードなどを積極的に活用する授業を行っていた。現在は、整備が進むタブレット端末の有効活用と子どもたちの学びに関する実践研究や小学校プログラミング教育に関する研究を行っている。

主な著書として

「コンピュータを使わない小学校プログラミング教育“ルビーのぼうけん”で育む論理的思考」小林祐紀・兼宗進（編著・監修）翔泳社（2017）



8 部会研究一覧

主な校種	部 会	部 会 の 内 容
幼稚園 保育園 小学校	① 感じる心を育てる部会	園児・低学年の児童一人一人の感性を伸ばし育てるために放送番組などを活用した実践について考えます。幼保小の連携という観点から、幼稚園、保育園、小学校低学年の先生方の参加をお願いします。
小学校 中学校	② デジタルコンテンツ活用部会	放送番組やDVD教材等のデジタルコンテンツを活用した実践について考えます。
全校種	③ 情報モラル研究部会	情報モラルに関する実践発表を通して、情報社会の中で必要な指導やその方法について考えます。
高等学校	④ メディア研究部会	教科学習の中で様々なメディアを利用し、より効果的な学習方法を追求した実践について考えます。

9 問い合わせ先 NHK名古屋放送局広報・事業部 愛視協担当 TEL 052-952-7070(平日10時～18時)

※講演講師など、記載内容については変更になる場合があります。